

(様式 1)

令和7年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県民共生センター 政策推進室

2 施設所在地
富山市湊入船町6-7

3 施設設置年度
平成 8 年度

4 設置目的
男女の人権が尊重され、かつ、豊かで活力のある社会の実現に寄与するため、富山県男女共同参画推進条例第16条に規定する男女共同参画を推進するための拠点となる施設として設置。

5 施設概要
鉄骨鉄筋コンクリート造 4階建
敷地面積：6,854.05㎡
延床面積：7,640.87㎡

【入居機関】
富山県消費生活センター、富山県不妊専門相談センター・富山県女性健康相談センター、富山新卒応援ハローワーク・マザーズコーナー、富山県婦人会、富山県消費者協会、女性就業支援センター

6 指定管理者
サンフォルテJOIグループ

7 指定期間
3 年
令和6年4月1日 ～ 令和9年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

R3	R4	R5	R6	R7
3,265	3,446	3,416	3,552	3,544

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

R3	R4	R5	R6	R7
22,815	24,446	24,890	26,808	26,886

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

R3	R4	R5	R6	R7
29,555	29,555	29,555	28,467	30,067

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

利用者数は、R6年度から概ね横ばいとなっている。利用料金収入は、コロナ禍以降増加し続けている。
立地の良さをPRして、収入増加を図るとともに、利用者ニーズに合った事業を展開し、利用者数の増加に努めてほしい。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・講座、講習会後に毎回実施しているアンケート結果を基に事業評価会議を行い、次回事業への反映を行うなど、利用者のニーズに即応した事業展開に努めている。
- ・子育て中の方が安心して講座に参加できるように一時保育事業を行っている。
- ・また、講座を実施にあたっては、従来の集合型に加え、アフターコロナの新たな生活様式・利用ニーズにも対応するためにオンラインを活用して柔軟に開催するなど施設運営・満足度の向上に取り組んでいる。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・図書館や総合案内横において、季節感あふれた展示を実施し、快適な空間作りを行っている。
- ・展示コーナーやモニュメント周辺を活用し、男女共同参画に関する情報を提供する場として県民のニーズに合った情報提供を行っている。
- ・県民ニーズを捉えたタイムリーな男女共同参画事業の企画・実施や登録グループ・団体に対する減免制度の適用により施設利用の促進に努めている。
- ・SNSを用いた広報の実施や若年層に人気のある講師の講演会行うなどを若年層の利用を促進している。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	施設利用者に向けたアンケートは実施していない。
回答者数	
結果	
結果を踏まえた改善事項	

② その他利用者の声を反映させる取組み

- ・講座ごとに受講者を対象としたアンケートを実施している。
- ・施設利用者に対しては、総合案内にご意見箱を設置している。

③ 主な苦情と対応

無

(5) 個人情報保護の取組み

- ・個人情報については、職員に周知を図っており、適切に取り扱われている。

(6) 関係団体との連携

- ・登録グループとの協働事業を実施している。
- ・学校等と連携し、学童期、青年期から男女共同参の普及・啓発に取り組むことにしている。

(7) 施設・設備の維持管理

- ・定期的に保守点検を実施し、適切に管理されている。
- ・防犯上の観点から、防犯カメラの設置を進める必要がある。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・職員が定期的に館内を巡視し、施設設備等の目視点検及び不審者がいないかを確認している。
- ・施設設備の定期的な安全点検を実施している。
- ・非常時の避難経路図、緊急連絡網、緊急時対応マニュアルを作成し、避難訓練を実施している。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有／無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	
無	

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

- ・開館から25年以上が経過し、経年劣化による小規模な修繕箇所が増加していることに加え、令和6年能登半島地震の影響も受けており、県と連携した計画的な修繕・改修を行っていく必要がある。
- ・また、新型コロナウイルスの「5類感染症」移行後も、状況に応じた適切な感染対策を講じ、利用者にとって安全・安心で快適な空間づくりと県内唯一の男女共同参画の拠点として、県民ニーズを踏まえた事業展開を通して利用促進に取り組んでもらいたい。
- ・令和6年度から高校等へのキャリア出前講座を開始しており、引き続き若年層へのアプローチの強化に取り組んでもらいたい。